船堀駅前地区高台まちづくりによる歩行者デッキの整備について

令和8年6月

■高台まちづくりとは

○大規模水害時に広域避難が困難な場合でも、命を守り、最低限の避難生活水準を確保できる避難場所（高台）を線的・面的につなげる整備を行うことです。
また、災害時だけでなく、日常時においても地域の賑わい空間としての機能を発揮することを目的としています。

■経緯

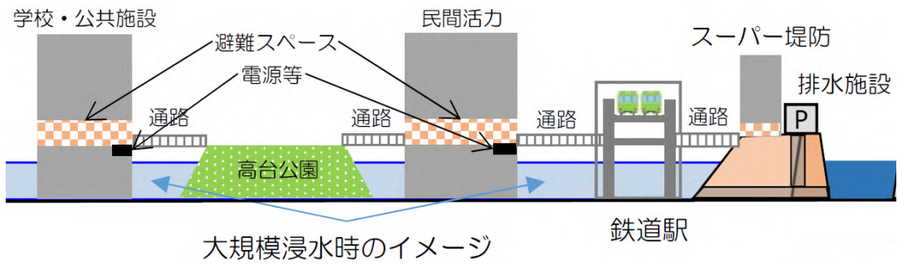
年度	経緯
令和２	災害に強い首都「東京」形成ビジョン（国・都） ⇒船堀地区がモデル地区に選定
	船堀駅周辺地区まちづくり基本構想
令和４	船堀駅前地区高台まちづくり基本方針
令和５	都市計画決定（新庁舎～船堀駅北口広場）
令和７	都市計画変更（船堀駅北口広場～船堀駅）

■災害に強い首都「東京」形成ビジョン（令和2年12月策定）

○高台まちづくりの考え方・取り組み方策をまとめたもの
○船堀地区がモデル地区に選定

区内では他に以下の３地区が選定…
・JR小岩駅周辺地区
・篠崎地区・中川左岸

船堀駅前地区では、建築物をデッキ等でつないだ建物群による「高台まちづくり」を推進

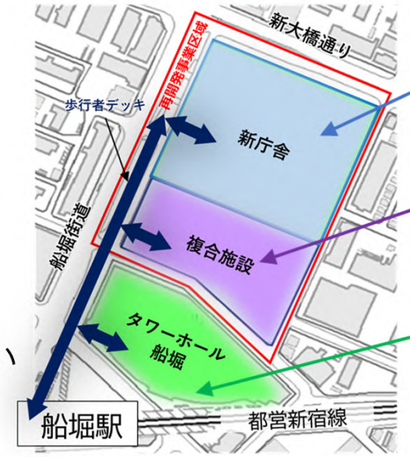


災害に強い首都「東京」形成ビジョン【概要版】（令和2年12月）を加工

■整備方針

○防災活動拠点の形成
新庁舎、複合施設、タワーホール船堀の３つの施設をまとめて「防災活動拠点」として位置づけ、高台まちづくりを牽引する拠点として整備します。

○浸水区域外への非浸水動線の確保
防災活動拠点と船堀駅を浸水しない高さによる歩行者デッキで結び、駅施設や車両の使用により、浸水区域外との動線を確保します。



防災活動拠点のイメージ

各施設は浸水深（A.P.+5.2m）以上のフロアに設置

【新庁舎】災害対策本部
○災害対策業務　○情報発信
○物資受入れ　など

【複合施設】避難支援
○待避スペース　など

【タワーホール船堀】災害対策支援
○待避スペース（緊急避難所）
○復旧・復興支援　など

【歩行者デッキ】
○建物間の移動・物資輸送

■歩行者デッキ



歩行者デッキ（主動線部）概要
延長：約240m
幅員：3.5m（有効幅員）
歩行面の高さ：地上から約5.5m以上
（最大浸水深さ3～5m）



駅北口からﾀﾜｰﾎｰﾙを臨むｲﾒｰｼﾞ



船堀街道からﾀﾜｰﾎｰﾙを臨むｲﾒｰｼﾞ

イメージは令和８年６月時点のものであり、今後の計画内容等の検討により変更となる場合があります。

■工事スケジュール（予定）

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
歩行者デッキ	インフラ（埋設物等）の移設工事（タワーホール前歩道）			歩行者デッキ工事（ﾀﾜｰﾎｰﾙ前～船堀駅）※	供用開始			
					歩行者デッキ工事（新庁舎～ﾀﾜｰﾎｰﾙ前）※			デッキ全線供用開始

※歩行者デッキ工事の施工期間については調整中です